

# 団結し待機時間解消を

## 埼玉協海コン部会 研修会

【埼玉】埼玉協海コン部会（稚山正明 部長）は1月29日、研修会を開催した。

稚山部長は、「みなさんが直面しているのは待機時間の問題だと思う。待機時間・空箱返却といった待ち時間に6〜8時間もかかって



いる。運送業は労働時間が長い上に、その解決のきざしが見

えていないのが現状」と指摘したほか、諸外国のターミナルが24時間365日体制であることに言及し、「埼玉協海コン部会が一致団結してこころした待機時間がなくなるように取り組んでいきたい」と話した。

研修会では、佐久間行政書士事務所（さいたま市）の佐久間翔一代表が「特

車ゴールド申請について」をテーマに講演。海コン事業者が大口・多頻度割引を最大限に活用できる方法を解説した。

また、トラサポ（長崎県佐世保市）の穂田勝一郎社長が、自社で開発したGPSを利用したトラック安全輸送サポートシステム、「トラサポ」の事例紹介を行った。（荒沼 滯）